

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

令和5年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

当年度5月にコロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、地域の状況は、コロナ禍前の状況には戻っていない中で、事業推進に努めた1年となりました。

そのような中で、地域福祉事業を中心とする社協事業につきましては、第7期地域福祉実践計画を基調として進めてまいりました。出前講座事業、日常生活のちょっとしたお手伝い事業などは、依頼が増加し、また生活支援体制整備事業につきましては、生活支援コーディネーターを中心に事業推進に努めた結果、少しずつ地域の状況が活性化してきています。

相談支援事業につきましては、コロナ禍の影響が残り、生活に支障を来す方の相談が続いています。そのため、相談支援体制を強化するためにLINEチャットを導入した他、フードドライブ事業を実施しました。権利擁護事業につきましては、成年後見相談支援事業を受託し、当年度は市民後見人養成研修を開催し、網走市市民後見人候補者名簿に11名の方が登録しました。

一方、介護事業につきましては、老人デイサービスセンター事業は今後利用者増が見込めないことから、当年度末で事業を廃止致しました。訪問介護事業につきましては、市民の依頼が多い事業ですが、介護職員の不足により、支援が必要な方や利用を希望される方のすべてに応えられないといった課題が浮き彫りになりました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 第7期地域福祉実践計画の推進

「絆と助け合いでつくるわたしたちのまち網走」を理念として、基本目標に掲げる福祉のまちづくりのために、それぞれ実施項目について計画立案して取り組みました。

令和5年度単年度評価

●実施状況

項目	評価数	割合
実施	54 (総務課 19、地域福祉課 35)	84.37%
未実施	10 (総務課 5、地域福祉課 5)	15.63%

●実施効果

項目	評価数	割合
効果大	38 (総務課 7、地域福祉課 30)	59.38%
効果中	10 (総務課 7、地域福祉課 4)	15.62%
効果小	5 (総務課 4、地域福祉課 1)	7.81%
効果なし	11 (総務課 6、地域福祉課 5)	17.19%

※効果なし内訳：実施項目において1、未実施項目において10であった。

2. 網走市地域福祉会議の開催

網走市における地域福祉推進を図るために、多様な関係機関の情報共有の場として、網走市地域福祉会議を開催しました。事務担当者会議は必要に応じて開催することとしています。

■代表者会議

開催日時	◆第1回：令和5年5月22日 出席者：網走市4名、包括2名、民連1名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協4名 ◆第2回：令和6年2月28日 出席者：網走市3名、包括2名、民連1名、町連1名 生活支援コーディネーター1名、社協4名
------	---

3. 出前講座事業の実施

地域住民の福祉への理解を推進していくため、社協職員等が地域へ出向き講話や体験学習に取り組みました。新型コロナウイルス感染症が5類に以降され、依頼数が増加しています。

事業実績	実施回数（依頼実績）52回（前年度28回）／受講人数1,189名（前年度717名） 延べ派遣職員数83名（前年度47名）／延べ協力者67名（前年度56名）
------	--

また、出前講座を利用した小学校から地域の高齢者との交流の希望があり、高齢者ふれあいの家との交流を本会が仲介となり実施しました。

内 容	日 時	場所等	対応者
なでしこふれあい会と南小学校児童との交流会	11月24日（金）	南小学校	山中課長 大橋主事
	2月16日（金）	南小学校	大橋主事 伊奈主事

4. 地域福祉事業功労者の表彰（社協会長表彰）

地域福祉に貢献した個人および団体を表彰しました。

永年ボランティア活動	井口一子、五十嵐茂子、大崎寿充、小笠原祥子、布瀬一夫 平岡しのぶ、つくしヶ丘2丁目ボランティアグループ 6名、1団体（敬称略・順不同）
------------	---

5. 日常生活のちょこっとお手伝い事業の実施

日常生活を営むのに支障があり支援が必要な高齢者や障がいのある方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活の中で起こる軽微な困りごとの解消を、住民参加型による有償の相互支援活動で行う事業を、令和3年6月1日より実施しています。

地域や介護等、生活支援の担い手不足の深刻化に伴い、依頼数が年々増加しています。

■登録会員数

会員区分	利用会員	サポーター会員	合 計
会員数	50名（23名増）	101名（17名増）	151名（40名増）

■相談・事前打ち合わせ件数

年 度	相談件数
令和5年度	219件（前年度170件）

■活動内容集計

活動内容	回数	前年度
ゴミの分別	4	0
電球交換	0	0
部屋の模様替え（軽い家具の移動等）	0	0
衣類の整理	3	2
簡単な掃除（生活空間以外の掃除：掃除機がけ、仏壇、窓ふき、換気扇等）	467	200
安否確認	0	0
洗濯作業（洗濯・洗濯物干し・洗濯物取り込み等）	1	0
買い物代行	0	13
ペットの世話や環境整備	0	0

書類の代読	0	0
代読・代筆（自筆が必要なものは除く）	0	0
書類の確認・作成	0	0
お話相手	132	165
病院への薬取り	13	0
市役所等への書類提出の代行	0	0
その他（要相談：対応可能なものに限る）	31	5
合 計	651	385

■ 支え合いサポーター養成研修

開催日時	第1回：令和5年 5月17日 参加者：12名 サポーター登録：12名 第2回：令和5年11月 8日 参加者：11名 サポーター登録：9名
------	---

■ 支え合いサポータースキルアップ研修

開催内容	「聞き上手のコツ」～傾聴から始まる深い人間関係づくり～
開催日時	令和5年9月9日（土）10：00～12：00 参加者：41名

6. ふれ愛ひろば網走2023の開催（実行委員会形式）

網走市内の福祉団体が実行委員となり、福祉の理解を深めることを目的に開催しました。

開催日時	令和5年8月27日（日）10時開会～12時30分閉会
開催場所	エコセンター2000 中庭・エコホール・アトリウムロビー 他
来場者数	約700名（参加スタッフ含む）

7. ふれあいクリスマスパーティーの開催（実行委員会形式）

網走市手をつなぐ育成会、ことばの教室、市内特別支援学級、網走市こども発達支援センターなどを利用している子どもとその家族がアトラクションを楽しみながら交流を深めました。

開催日時	令和5年12月10日（日）10時30分～12時
開催場所	北コミュニティセンター
参加者数	274人（子ども144人、保護者等130人）

8. ボランティアセンター事業

網走市のボランティア活動推進のため各種事業に取り組みました。

■ ボランティア登録幹旋事業

【ボランティア登録者数】

登録区分	会員数						差異
	令和5年3月31日時点			令和6年3月31日現在			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
個人	60名	144名	204名	66名	144名	210名	6名
団体	297名	662名	959名	332名	682名	1,014名	55名
合計	1,163名			1,224名			61名

【ボランティア幹旋数】

実績	派遣回数：85回、活動実人数：104名、活動延べ人数：207名 (前年度 派遣回数：31回、活動実人数：49名、活動延べ人数：65名)
内容	託児：保健センター離乳食教室、子育てサポートセンター講習会 訪問活動：高齢者施設慰問活動、高齢者ふれあいの家そば打ち 施設活動：高齢者施設お話し相手 外出介助：高齢者施設屋外レクサポート 生活支援：在宅高齢者点眼の声掛け 行事活動：障がい者ふれあい運動会運営補助 活動支援：就労準備支援事業サポート その他：網走マラソン手旗作成、フードドライブ食品仕分け

■ボランティア講座「つながろう講座」

ボランティア・市民活動への理解と担い手育成を目的としたボランティア講座を開催しました。

詳細	日 時：令和5年7月8日(土) 10:00~12:30 場 所：エコーセンター 2階 大会議室 講 師：北海道カラーデザイン研究室 代表 外崎由香 氏 内 容：講演「心を笑顔にする色彩の活用法～自分に似合う色探しと色の意味～」 演習①色で頭の体操「伝統色カードゲーム」 演習②自分に似合う色探し「パーソナルカラーとは？」 参加者：57名、事務局4名
----	--

■ヤングボランティア育成事業の開催

若い世代のボランティア活動者の育成及び確保を目的とした研修会等を開催しました。

詳細	①ヤングボランティア育成事業 担当教諭会議 日 時：令和5年6月2日(火) 16:30~17:30 参 加 者：桂陽高校教諭3名、南高定時教諭2名、ミライエ3名、事務局2名
	②高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 企画会議 日 時：令和5年10月14日(土) 9:30~12:10 参 加 者：高校生17名、学校教諭3名、ミライエ2名、社協2名
	③高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 本番 開 催：令和5年12月16日(土) 10:00~14:30 参 加 者：子ども39名、保護者28名、高校生25名 学校教諭3名、ミライエ2名、市民活動サポーター7名、社協3名

■市民参加促進事業「つながろう！市民誰でも清掃活動」

地域住民が参加しやすい清掃活動を通じて、ボランティア育成を図ることを目的としています。

開催日時	第1回：令和5年5月27日(土) 諸事情により中止 第2回：令和5年9月30日(土) 8:30~9:40 参加者56名
------	--

■ボランティア情報誌「夢ポケット」の発刊(偶数月15日発刊)

定期的にボランティアの情報を発信するためにボランティア情報誌を発刊し、登録ボランティア及び市内公共施設へ郵送や社協ホームページに掲載し、ボランティアの推進を図りました。

実績	126号：令和5年 4月14日(金) 発刊 / 700部発刊
	127号：令和5年 6月15日(木) 発刊 / 700部発刊
	128号：令和5年 8月18日(金) 発刊 / 700部発刊
	129号：令和5年10月16日(月) 発刊 / 700部発刊
	130号：令和5年12月15日(金) 発刊 / 700部発刊
	131号：令和6年 2月14日(水) 発刊 / 700部発刊

■お話広場えがおの開催

幅広い世代間の交流、障がいの有無を問わない誰もが気軽に集える場を提供することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的としています。

来場者は増加しており、近隣地域以外から足を運ぶ方も増えています。

詳 細	<p>◆毎月第2・第4火曜日11:00～15:00 会場：網走市総合福祉センター</p> <p>【令和5年度実績】 開催回数：24回 ※前年度実績：24回 来場者：延べ775名（1日平均32名） ※前年度実績：720名 運営協力：市民活動サポーター、登録ボランティア（保健師、看護師）</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者対策：市内農家と連携した「野菜即売会」 就労継続支援B型事業所「タイ焼きカフェあずき」の販売 ・高齢者の介護予防：脳年齢・血管年齢測定会の実施 クイックアーム・クイックキャッチ測定会の実施 登録ボランティアによる介護予防体操の実施 ・イベント：ボランティアによる食事提供 年2回（豚汁、おしるこ） お楽しみ会、ポッチャ体験・大会、物づくり 園児交流（北浜はまなす幼稚園）
-----	--

■市民活動サポーターの設置

網走市社会福祉協議会の事業への協力及びボランティア活動者のサポートとして、市民活動サポーターを設置しています。

内 容	<p>市民活動サポーター人数：7名</p> <p>①定期ミーティングの開催 毎月第1水曜日11:00～12:00 ②お話広場えがおの運営 ③情報誌夢ポケットの発送準備 他</p>
-----	---

■災害ボランティアセンターの運営

災害時における災害ボランティアセンターが効率的かつ効果的に支援を行うとともに、平常時から連携を取り合い、防災力の向上を図ることを目的に、網走市、網走青年会議所、網走市社会福祉協議会の3者では協定を締結しています。また新たに、令和5年6月13日に網走ライオンズクラブと協定を締結し、各種備品の寄贈がありました。

【3者連絡会議】

開催日時	<p>第1回：令和6年3月1日（金）13:25～14:40 内 容：令和6年度の進め方 等</p>
------	---

【網走ライオンズクラブとの協定締結・備品寄贈】

寄贈備品	<p>ポータブル蓄電器 2台 ポータブル石油ストーブ 10台</p>
------	--

【網走ライオンズクラブ卓話対応】

内 容	<p>災害時における具体的なボランティア支援について 日 時：令和6年2月16日（金）12:15～12:35 場 所：網走セントラルホテル 対 応：山中課長</p>
-----	--

■東日本大震災復興の狼煙パネル展示

防災意識を高めるため、東日本大震災パネル「復興の狼煙」を貸出しました。

【網走小学校 1 日防災学校】

展示場所：網走小学校

展示期間：令和5年8月30日（水）～令和5年9月6日（水）まで

【網走市防災フェア2023】

展示場所：エコーセンター2000

展示期間：令和5年9月9日（土）

■ボランティア活動保険の加入促進

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務を行いました。

○令和5年度ボランティア保険加入者数（市助成分）1,225人 掛金1人350円

■ボランティア活動に関わる保険加入の受付

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】
- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

■外部研修等の参加

内 容	日 時	場 所 等	出 席 者
なでしこふれあい会10周年記念式典	10月13日（金）	羽衣会館	山中課長 伊奈主事
オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム	10月14日（土）	紋別市文化会館	山中課長 他 2名
ボランティア強化セミナー	1月19日（金）	ZOOM研修	大橋主事

■ボランティア団体の支援

【ヤングボランティアグループ「ミライエ」設立・運営支援】

当団体が令和5年4月1日に設立。団体運営に関わる情報提供やサポートを行いました。また、ヤングボランティア育成事業実施の学生活動サポートや運営の手伝いにご協力をいただきました。

9. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

高齢者や障がい者、子育て中の親など、地域で安心して暮らしていく中で解決が必要な生活課題を抱える方に対し、課題解決に向けた「支援」「調整」「助言」「つなぎ」を行うとともに、「住民主体の地域づくりの推進」を図るため、地域のコーディネートを担うコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しました。

CSW人数	4名（地域福祉課長・地域福祉係職員）
-------	--------------------

■相談援助活動

相談件数	63件（訪問、来所、電話対応）
------	-----------------

■事業周知

リーフレットの配布	関係者に配布、訪問先へ配布、市内公共施設設置
ホームページ掲載	社協ホームページに情報を掲載

■担当職員のスキルアップ・情報共有

C S W連絡会議の開催	1 2 回（月末に実施）
--------------	--------------

10. 福祉教育事業「みんなで Happy 福祉を学んで地域を支えよう！」

福祉を題材に夏休み・冬休みでの取り組みを通して、子どもへの福祉教育のきっかけ作りと子どもを通して親世代の福祉への理解を図りました。令和5年度はテスト運用とし、潮見地区をモデル地区に設定し実施しました。

詳 細	<p>夏季開催 日 時：令和5年7月27日（木）～28日（金） 場 所：潮見コミュニティセンター 内 容：7/28（木）視覚障がい者疑似体験、車椅子体験、グループワーク 7/29（金）ポッチャ体験、要約筆記体験、ろうあ者との交流 他 参加者：9名（潮見小学校児童）</p> <p>冬季開催 日 時：令和6年1月11日（木）～12日（金） 場 所：潮見コミュニティセンター 内 容：1/11（木）高齢者疑似体験、老人クラブとの交流 1/12（金）ふまねっと体験、グループワーク 他 参加者：9名（潮見小学校児童）</p>
-----	---

11. その他（外部委員の参加）

内 容	日 時	場所等	出席者
網走市学校支援地域本部事業 実行委員会	10月18日（水）	エコーセンター	山中課長
	2月9日（木）	エコーセンター	山中課長
網走市市民活動等推進懇話会	6月30日（金）	市役所	山中課長
	3月14日（木）	市役所	山中課長
網走市障がい福祉計画策定委員会	6月8日（木）	エコーセンター	荒尾主事
	11月13日（月）	エコーセンター	荒尾主事
	2月7日（水）	エコーセンター	荒尾主事
網走市自立支援協議会	6月8日（木）	エコーセンター	荒尾主事
	11月13日（月）	エコーセンター	荒尾主事
網走市ケアマネジャー連絡協議会	毎月第2木曜日	エコーセンター	松野係長

その他、網走市地域福祉計画策定委員会、北網保健医療福祉圏域連携推進会議委員

12. 子育てサポートセンター事業（受託事業）

育児の援助を「受けたい方（依頼会員）」と「行いたい方（協力会員）」が会員となり、子育てサポートセンターが仲介して会員同士で支え合う援助事業に取り組みました。

■登録会員数

会員区分	会員数		差異
	R5.3.31 現在	R6.3.31 現在	
依頼会員	126名	111名	△15名
協力会員	91名	91名	0名
両方会員	16名	15名	△1名
合計	233名	217名	△16名

■活動内容集計

活動内容	回数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	0
学校開始前・終了後の預かり	0
子どもの病気時の預かり	1
児童館の開始前・終了後の預かり	15
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	2
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	5
保護者の就労や求職の際の預かり	96
買い物や外出の際の預かり	14
預かり援助その他	0
自宅や祖父母宅への送迎	0
保育施設等への送迎	27
病院への送迎	0
習い事への送迎	280
学校への送迎	27
親の職場への送迎	4
送迎援助その他	0
合計（前年度469回）	471

■相談件数

年度	件数
令和3年度	383件
令和4年度	351件
令和5年度	298件

■事前打ち合わせ件数

年度	件数
令和3年度	19件
令和4年度	18件
令和5年度	12件

■協力会員講習会

開催日時	内容
第1回：令和5年 5月16日	参加者3名
第2回：令和5年 8月24日	参加者1名
第3回：令和5年 11月16日	参加者申込みがなかったため中止
第4回：令和6年 2月16日	参加者申込みがなかったため中止

■会報「あおぞら」発行

実績	第33号（春・夏号）：令和5年6月15日発行 / 500部発行 第34号（秋・冬号）：令和6年1月14日発行 / 500部発行
----	--

■スキルアップ講習会の開催

開催日時	◆第1回：令和5年 7月19日 内容：知っておきたい応急手当！！ 参加者：3名 ◆第2回：令和5年11月 1日 内容：竹のおもちゃをつくろう 参加者：9名
------	--

13. 生活支援体制整備事業（受託事業）

「生活支援体制整備事業」の取組み7年目となる令和5年度においては、前年度に引き続き、各地区の協議体で十分な協議を行い、地域の「考え方」「自主性・主体性」「スピード」等、意向をお聴きしながら第二層の基盤整備や住民主体の取組みの推進に努めて参りました。

網走市社会福祉協議会が取り組む「地域福祉の推進」を実践する職員（コミュニティソーシャルワーカー：CSW）を地区担当職員として配置し、社協が行う地域福祉推進の一環として、第2層協議体の運営支援及び設立支援を進めました。

第2層協議体が主体となり、様々な地域づくりに向けた取組み等を進めている地域もある反面、担い手不足により「地域基盤の構築」が厳しい状況の地区も数カ所あり、地域組織や第2層協議体の運営自体が難しくなっている地区も増えつつあります。その中で、今年度は各地区で協議を進める中から見えた共通課題として「担い手不足」を1つの柱に、地域活動への理解を深めるとともに、社会参加の促進に向けた取組みを行いました。

1. 社協組織体制の構築及び強化

(1) 地区担当職員の配置

社協が取り組む「地域福祉の推進」を実践する職員（コミュニティソーシャルワーカー：CSW）を地区の担当職員として配置。第1層生活支援コーディネーターと連携を図りながら、地域福祉の推進の一環として第2層協議体の設立及び運営支援を行いました。

対応内容	・第2層協議体設立に向けたアプローチ ・第2層協議体の運営支援（会議や事業実施等）
対象地区	17地区（地区連をベース）
地区担当	3名（地域福祉係職員）

(2) 第1層生活支援コーディネーターと地区担当職員（CSW）との情報共有

第1層生活支援コーディネーター及びCSWが担当地区において取組みを進められるよう、定期的な情報共有や学習を行いました。

実施日	年12回 ※毎月1回定期開催（月末）
対象職員	・第1層生活支援コーディネーター：1名 ・CSW：3名 ・生活サポートセンター：4名
内容	CSW連絡会議（偶数月：地域福祉係・生活サポートセンター合同／奇数月：地域福祉係） ・CSWのスキルアップを目的とした学習や情報収集の場 ・「進捗状況・進め方の確認」「情報や課題の共有」「方向性の確認」等

(3) 生活支援体制整備事業に関する研修会への参加

研修会に参加し、他市町村の生活支援コーディネーターとの情報交換等を行いました。

内 容	<p>○令和5年度 網走管内社会福祉協議会職員連絡協議会 自主研修会 及び 令和5年度地域に理解され支持される社協づくり研修会 日時：令和5年9月29日（金）13：30～16：30 場所：津別町 内容：「地域のつながりを強める社協職員の仕掛け方」 参加：山中（第1層SC）、荒尾（CSW）、小西（生活サポートセンター）</p> <p>○令和5年度オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会 日時：令和5年11月21日（火）13：00～15：45 場所：遠軽町 内容：オホーツク管内 各市町村生活支援コーディネーターの事例紹介、情報交換会 参加：山中（第1層SC）、伊奈（CSW）</p>
-----	--

2. 第1層の取り組み

(1) 第1層協議体の運営

第1層協議体を担う「網走市地域福祉会議」にて、関係団体との情報共有、事業の進捗状況の確認や協議等を行いました。（1ページ参照）

(2) 住民への情報発信

○進捗状況を掲載したリーフレットの作成と配布

実 施	年1回（令和5年4月24日発行）
配布方法	全戸配布（市内：網走広報に折込み／郊外：市広報誌に折込み）
周知内容	「事業周知」「全市的な取り組み紹介」「地区での取り組み紹介」等
掲載内容	令和2年4月～令和5年3月までの期間で取り組まれた「第1層」「第2層」の取り組みの一部を3つのカテゴリー（「生活支援」「交流の場」「学びの場」）でご紹介。

その他、FM あばしり、広報誌、SNS ツールを活用した情報発信を行いました。

(3) 視察対応

他市町村からの視察依頼を受け、視察の受入れ及び当市の取り組みについての説明等を行いました。

対応内容	<p>(1)遠軽町（行政・社協） 日時：令和5年6月19日（月）13：00～ 内容：網走市における生活支援体制整備事業の取り組み 等</p> <p>(2)紋別市（社協・社会福祉士実習生：名寄大学生） 日時：令和5年8月31日（木）13：00～ 内容：網走市における生活支援体制整備事業の取り組み 等</p> <p>(3)小清水町（行政・社協） 日時：令和5年12月12日（火）10：00～ 内容：網走市における生活支援体制整備事業の取り組み、お話広場えがおの見学 等</p>
------	---

(4) 講師対応

講師依頼を受け、第1層生活支援コーディネーターが生活支援体制整備事業の説明を行いました。

対応内容	(1)町内会活動推進研修会 日時：令和5年9月30日（土）10：45～11：25 演題：いつまでも安心して暮らすことができる地域を目指して 参加：65名 (2)市民後見人養成研修 日時：令和5年10月26日（木）11：00～12：00 演題：支え合いの地域づくりについて～生活支援体制整備事業～ 参加：13名
------	---

(5) 全市的な取り組みが必要な地域課題の解決に向けた協議・検討

各地区等で抽出された地域課題等の情報を踏まえ、全市的な取り組みが必要な地域課題の解決を目指し、関係者との話し合いや情報確認を行いました。

日時／場所	令和5年5月12日（金）10：00～12：00／福祉センター 小集会室
協議内容	全市的な取り組みが必要な課題の抽出 …「担い手不足」へのアプローチに事業を進めることに決定。
出席者	地域包括支援センター：2名（りんく）南センター長／（マウニ）高橋センター長 網走市：2名（介護福祉課）小西課長／（高齢者福祉係）坂上係長 網走市社会福祉協議会：1名（生活支援コーディネーター 山中）

(6) 支え合いの地域づくり研修会の開催

全市的な課題として「担い手不足」を柱に、高齢者の社会参加の促進をテーマに研修会を開催しました。

日時／場所	令和5年11月25日（土）10：00～12：30／エコーセンター 大会議室
実施内容	「高齢者の社会参加の促進」「退職後の社会参加への理解」「新たな担い手の発掘」をテーマに開催。「講話（丸藤競氏）」「生活支援体制整備事業説明」「身近にあるシニアが活躍できる社会参加の場の紹介（5団体）」「地域包括支援センターの紹介」「シニアが活躍できる場 相談・説明ブース」
参加者	参加者（68名）、スタッフ・関係者（12名）、講師（1名）
実績	○シニアが活躍できる場 相談・説明ブース 相談者：4名（支え合いサポーター受講希望：2名／ボランティア登録相談：2名） ○アンケートの実施（回答率：72%） 可能な範囲で地域活動への参加希望を取ったところ、14名が記名。 生活支援コーディネーター及びCSWから社会参加への情報提供及び打診を行った。 …シルバー人材センターへの登録：1名 ボランティア登録：2名（定期的な介護施設でのボランティア斡旋を調整済） 支え合いサポーター登録希望：6名（令和6年度の養成研修を受講・登録を依頼）

3. 第2層の取り組み

(1) 第2層の運営サポート

地区を担当する職員として「CSW」を配置し、第2層協議体と連携をとりながら、地域の「現状」「考え方」「自主性・主体性」「スピード」を尊重し、住民主体の取り組みを進めていけるようサポートを行いました。

【協議体設置状況】

○地区で協議体または話し合いの場が設立済み：15地区（前年度 16地区）

「西地区」「北地区」「向陽ヶ丘地区」「鉄南地区」「呼人地区」「東部地区（藻琴町内会）」「東部地区（鱒浦町内会）」「南部地区」「西網走（卯原内町内会）」「桂町地区」「鱒浦地区」「潮見地区」「つくしヶ丘地区」「新町地区」「天都山地区」

○地区で協議体または話し合いの場の設立を打診中：4地区（前年度 4地区）

「南西・南東地区」「西網走地区（二見ヶ岡区会）」「潮見地区（潮見ヶ丘）」「駒場地区」

○地区関係者と協議の結果、現段階では「取り組みは行わない」との回答あり：10地区（前年度 9地区）

「台町地区」「東部地区（豊郷第1区会）」「東部地区（豊郷第2区会）」「東部地区（中園区会）」「東部地区（昭和区会）」「東部地区（山里区会）」「東部地区（稲富区会）」「西網走地区（嘉多山区会）」「西網走地区（能取区会）」「西網走地区（平和区会）」

【協議体の会議開催】

□地区の関係者等との打合せ：184回（前年度 82回）

■協議体メンバーを中心とした会議等（開催予定・延期も含む）：37回（前年度 32回）

★取り組み：15回（前年度 11回）

(2) 第2層協議体未組織・未着手地区へのアプローチ

第2層協議体未組織地区及び未着手地区の関係者との話し合いを行い、地域の意向確認をしながら協議体設立に向けたアプローチを行いました。

令和5年度 地区別取り組み実績

(区分) □：地区の関係者等との打合せ／■：協議体メンバーを中心とした会議等／★：取り組み・成果)

地区名	□	■	★	★の取り組み
西地区	18	3	3	野菜販売2回 / 避難訓練1回
北地区	30	6	1	北のふれあいまつり
向陽ヶ丘地区	11	2	0	
台町地区	0	0	0	
鉄南地区	15	3	2	ゲーム交流会2回
呼人地区	7	1	0	
東部地区（鱒浦町内会）	9	2	1	どこバス説明会
東部地区（藻琴町内会）	7	1	0	
南部地区	3	1	4	訪問調査4回
西網走地区（卯原内町内会）	6	2	0	
西網走地区（二見ヶ岡区会）	0	0	0	
鱒浦地区	10	0	0	
桂町地区	10	1	0	
南西地区	0	0	0	
南東地区	0	0	0	
潮見地区	14	5	1	防犯研修会
潮見ヶ丘地区	1	0	0	
駒場地区	9	1	0	
つくしヶ丘地区	19	5	1	ウォーキング・トーキング・キャッチング
新町地区	8	2	1	課題解決説明会
天都山地区	7	2	1	リッチガーデンウォーキング
合計	184	37	15	
前年度実績	82	32	11	

4. 関係機関等との連携

(1) 地域課題の解決に向けた連携や取組み

関係機関と連携を行い、様々な活動や諸会議にも積極的に参加し、情報共有やネットワークの拡大、地域課題の解決に向けて連携や取組みを行いました。

実績	<p>①<u>地域ケア会議への参加</u> (4回出席) 地域包括支援センターからの依頼を受け「第1層生活支援コーディネーター」及び「地区担当CSW」が出席</p> <p>②<u>地区担当CSWによる相談対応</u> (63件) 地域住民や関係機関、団体等からの相談を受け、地区担当CSWが対応した。</p> <p>③<u>訪問調査</u> (随時対応) 「高齢者ふれあいの家訪問・聞取り」…地区担当CSWが訪問 「老人クラブ訪問・聞取り」…地区担当CSWが訪問</p> <p>③「<u>地域イベントへの参加</u>」(随時対応) 各地区で地域イベントが開催される際、取組みや実情把握等も含め、可能な範囲で第1層生活支援コーディネーター及び地区担当CSWが訪問・見学を行っている。</p>
----	--

(2) ボランティア活動の促進

網走市社会福祉協議会で取り組む網走市ボランティアセンター事業と連携を図り、次の取組みを行いました。

実施	<p>①ボランティア登録制度の充実</p> <p>(1)「ボランティア登録の促進」 ・社協広報誌やSNS、FMあばしり等を様々なツールを活用しボランティア登録制度の周知を行った。 ・若い世代のボランティアグループ設立支援を行った。(令和5年4月設立・登録)</p> <p>(2)「登録ボランティアのリスト化」 ・登録ボランティアの情報を管理しやすいようデータのリスト化を行った。</p> <p>(3)「ボランティア斡旋」 ・ボランティア斡旋相談を随時対応。</p> <p>②企業ボランティアの発掘及び協力依頼 SNSや広報誌等を活用しボランティア活動への参加呼びかけを行った。</p> <p>③ボランティア登録者への活動情報の提供 ・ボランティア情報誌「夢ポケット」を2カ月に1回発行し、ボランティア活動情報及びボランティア募集情報の提供を行った。 ・ボランティア登録の際、活動希望内容を踏まえ情報提供を行っている。 ・ボランティアガイドブックを作成し、情報提供を行っている。 ・ボランティア斡旋依頼を踏まえ、ボランティアコーディネーターから活動希望者に情報提供及び協力依頼を行っている。</p>
----	--

Ⅱ. 相談支援事業の推進

当事業は平成26年度から受託しており、令和5年度新規の相談件数は44件で、令和4年度の46件に比べ2件の減少となりました。令和5年度は新型コロナウイルスに伴う就労や経済的な相談は減少しましたが、DV、ひきこもり、失業・転職・傷病等に伴う経済的困窮、家計の管理など多岐にわたる相談を受けました。

また、令和4年度から開始した就労準備支援事業、家計改善支援事業については、徐々に利用者が増加し対象者に対してはプランを作成して継続的な支援を行っています。

(1) 相談実績

	新規相談内容											計
	家計	負債	就労	教育	健康	介護	近隣トラブル	ひきこもり	住居	家族問題	その他	
令和3年度	58	5	3	0	5	2	0	1	1	3	1	79
令和4年度	26	6	2	0	2	1	1	2	2	2	2	46
令和5年度	21	5	4	0	3	0	0	2	1	6	2	44

(2) 就労準備支援事業、家計改善支援事業の取り組み状況

① 就労準備支援事業プラン作成状況

	新規	更新
令和4年度	0件	0件
令和5年度	3件	2件

② 家計改善支援事業プラン作成状況

	新規	更新
令和4年度	1件	0件
令和5年度	4件	2件

(3) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ① 教育支援資金貸付実績 1件 691,000円（前年度 0件）
- ② 緊急小口資金貸付実績 1件 100,000円（前年度 1件 100,000円）
- ③ 福祉資金貸付実績 1件 149,000円（前年度 1件 168,000円）

(4) 福祉援護資金貸付事業の実施

福祉援護資金貸付実績 5件 105,000円（前年度 10件 245,000円）

令和2年度より生活費緊急支援資金とボランティア援護資金は福祉援護資金に統合されました。

(5) 安心サポート事業の実施

令和5年度利用実績 4件 77,170円（前年度 2件 20,910円）

令和3年度より、生活困窮により医療費、食料購入費、光熱水費等が負担できない方に対しご本人に代わってお支払いする安心サポート事業をはじめました。

(6) LINEチャットの実施

令和4年度よりより相談しやすい環境を整えるために、スマートフォンやタブレットのLINEトーク機能を活用した発信ツールを開始しました。

令和5年度利用実績 新規利用者16件 (前年度 新規利用者9件)

(7) フードドライブ事業の実施

経済的に困窮された方への食糧支援の取り組みで、フードドライブ事業を8月～9月にふれあい広場を初日に秋のフードドライブとして、11月～12月に歳末フードドライブとして2回行いました。

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○令和5年度網走市市民後見人養成研修(令和5年10月5日～11月30日)を開催しました。13名が受講し、修了することができました。網走市市民後見人候補者名簿には11名の方が登録されました。

○市民後見人支援活動

市民後見人連絡会議を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換しました。

○市民後見人フォローアップ研修会・ケース検討会議の開催

市民後見人フォローアップ研修会

日時	テーマ	場所等	出席者
5月20日	高齢者福祉今昔物語	エコーセンター	44名
7月8日	相手を元気にする「色」の活用法	エコーセンター	61名
9月9日	聴き上手のコツ	エコーセンター	44名
10月26日	意思決定支援について(養成研修と合同)	エコーセンター	8名
2月26日	苫小牧市における市民後見人の活動について	福祉センター	16名
3月2日	意思決定支援について(応用編)	エコーセンター	21名

ケース検討会議

日時	議題	場所等	出席者
4月21日	専門的業務賠償保険につて	福祉センター	10名
5月13日	体験伝達:「死後事務」を終えて	福祉センター	10名
6月20日	「意思決定支援プロセス見える化シート」の活用について	福祉センター	8名
7月20日	「地域住民を支える郵便局の取組み」について	福祉センター	8名
8月22日	死後事務について	福祉センター	8名
9月22日	「TRY CATS」の取組みについて	福祉センター	10名
10月11日	死後事務について(事例発表)	福祉センター	8名
11月15日	死後事務について(事例発表)	福祉センター	7名
1月18日	死後事務の提出書類について	福祉センター	8名
2月14日	参加者によるフリーディスカッション	福祉センター	8名
3月12日	近況報告と次年度日程確認	福祉センター	8名

○相談支援事業

相談件数 50 件（前年度 54 件）

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	財産管理・処分	その他	合計
件数	20	7	5	4	14	50

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月29日	・新任委員の紹介 ・令和4年度成年後見相談支援事業 事業報告・決算報告
第2回	3月19日	・令和6年度成年後見相談支援事業 事業計画と予算について ・市民保佐人の辞任と選任について

○研修会等の参加

日時	講演会	場所等	出席者
7月24日	令和5年度成年後見制度事業担当職員研修／ 成年後見制度事業担当職員連絡会議	Zoom	山西 小西
9月16日	支えあいの地域づくりフォーラム 「“その人らしく暮らし続ける”を支える成年後見制度と市民への期待」	日本赤十字北 海道看護大学	山西 小西
9月26日	地域活動デビューセミナー	網走市 市民会館	山西
10月12日 ～16日	令和5年度成年後見制度利用促進体制整備研修《基礎研修》	Zoom	小西
10月27日	令和5年度厚生労働省委託事業 「持続可能な権利擁護支援モデル事業の歩みとポイント」	Zoom	山西 小西
10月中旬 ～2月	令和5年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会	オンデマンド	山西
12月6日 8日	令和5年度「持続可能な権利擁護支援モデル事業」研修	Zoom	山西
1月19日 ～23日	令和5年度成年後見制度利用促進体制整備研修《応用研修》	Zoom	山西 小西
1月28日	後見人等への意思決定支援研修	Zoom	山西
3月4日	令和5年度地域における権利擁護システム構築セミナー	Zoom	山西
3月8日	令和5年度権利擁護支援シンポジウム 「地域の権利擁護を支える市民後見人 ～地域共生社会の実現に向けた市民後見人の育成・活躍支援～」	東京 Zoom	山西 小西

(2) 日常生活自立支援事業の受託運営(道社協委託事業)

福祉サービス利用援助事業として業務を行ない、当年度で8年目を迎えました。

○契約者数

年度開始時契約者数	新規契約	年度末時契約者数
2名	1名	3名

○自立生活支援員登録者数 11名(令和6年3月31日現在)

3. その他

(1) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行ないました。

支給実績：火災 該当なし 0円（前年度1件 10,000円）

(2) 身体障がい者生活器具給付事業の実施（ストーマ等）

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しました。

給付実績：ストーマ14件（前年度17件）1人10,000円、合計140,000円

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

○訪問介護事業、訪問型サービス事業（第1号訪問介護）

サービス提供実績（延訪問数）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
令和3	849	339	1,156	797	1,500	955	710	102	6,408	17.6	1.9
令和4	798	520	1,228	980	1,327	895	23	8	5,779	15.8	1.4
令和5	778	349	920	1,479	1,581	497	0	55	5,659	15.5	1.4

○障がい福祉サービス事業（指定居宅介護）

サービス提供実績

年度	延訪問数（回）	1日平均（回）
令和3年度	661	1.8
令和4年度	690	1.9
令和5年度	714	2.0

(2) 指定地域密着型通所介護事業所の経営

○地域密着型通所介護事業、通所型サービス事業（第1号通所介護）

サービス提供実績（延人員）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
令和3年度	581	66	494	733	838	194	110	48	3,064	11.7	1.6
令和4年度	303	23	469	755	919	323	60	78	2,930	11.2	1.7
令和5年度	177	32	451	527	955	198	33	0	2,373	9.5	1.5

- 事業所閉鎖に伴い、令和5年10月以降、利用者の事業所切替が進み、利用者減となりました。
- 令和6年3月31日に通所介護事業所を閉鎖いたしました。全利用者事業所切替ができました。
- 網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管理者制度に基づく管理業務を行いました。

(3) 受託事業

○高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）

生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 29世帯（R5.3.31現在）
利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。

○家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュのつどい）

興部町在住の館岡こっぺ氏をお招きし、参加者はリフレッシュ体操（レクリエーション）、スコープ三味線を体験し、リフレッシュいただきました。

期日	場所	参加者
11月18日	総合福祉センター	31人（家族介護者14、ほっとコール5、社協3、包括3、市3、講師3）

○買い物リハビリ事業（介護予防・日常生活支援総合事業「通所型サービスA」）

総合事業対象者や要支援者が買い物を通じて、身体のリハビリをすることにより、身体能力の向上を図ることを目的に実施しました。本会としては送迎車両・運転手の提供（2名）、付き添いボランティア（ウインクルム）の調整を行っています。

実施日／回数	毎週火・水・木曜日／140回	ボランティア人数	延べ230名
--------	----------------	----------	--------

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役職員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

（1）理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名称	主な案件	出席者
5月25日	決算監査会	令和4年度決算監査	監事2名
6月6日	第1回理事会	外部監査結果報告、社会福祉充実計画の策定について、理事及び評議員候補者について、令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告、令和4年度監査報告、定時評議員会の招集事項について他	理事9名 監事2名
6月23日	第1回評議員会	令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告、令和4年度監査報告、理事及び監事の選任について	評議員 11名他
6月23日	第2回理事会	会長の選定、副会長の選定、常務理事の選定	理事11名 監事2名
8月8日	第3回理事会	会務報告、網走市社会福祉協議会会長表彰について、社協会員会費制度について、ふれ愛ひろば網走2023について	理事12名 監事2名
9月22日	第2回監査会	第一四半期の業務執行状況について、総務課の業務監査及び会計監査	監事2名
10月30日	第4回理事会	令和5年度補正予算案について	書面決議
11月10日	第2回評議員会	令和5年度補正予算案について	書面決議
12月19日	第5回理事会	会務報告、監査報告、カレンダー・リサイクル市の開催について	理事11名 監事2名
12月26日	第3回監査会	上半期の介護保険事業の経営状況について、業務監査、会計監査	監事2名
3月7日	第6回理事会	会務報告、監査報告、事務局規程の一部改正、身体障がい者生活器具給付事業規程の一部改正について他規程類の改正、令和5年度補正予算案、令和6年度事業計画案、令和6年度収支予算案、令和5年度第3回評議員会の開催について	理事9名 監事2名
3月27日	第3回評議員会	令和5年度補正予算案について、令和6年度事業計画案について、令和6年度収支予算案について	評議員 13名他

○道社協・管内社協の会議等

月日	事業名	会場	参加者
6月29日	管内市町村社協連絡会議総会	エコセンター	鬼塚会長、山崎局長
7月18日 ～19日	北海道市町村社会福祉協議会総会 北海道市町村社協会会長総会	札幌市	鬼塚会長 山崎事務局長
9月28日	全道市町村社協事務局長連絡会議	札幌市	山崎事務局長
9月29日 ～30日	オホーツク管内社協職員連絡協議会総会・研修会	津別町	山中課長他
2月22日	オホーツク管内市町村社協会会長事務局長研修会	エコセンター	鬼塚会長、山崎局長

- (2) 永年役員・評議員功労者の表彰（社協会長表彰）
当年度該当者なし

(3) 広報活動の推進

- ①社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第119号	全戸配布
3月20日	ふれ愛めーる第120号	全戸配布

- ②事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

- ③FMあばしりにて月1回「社協のほっと便」を放送しました。（毎月第1木曜日）

- ④ホームページおよびFacebookを更新しました。

(4) 法令遵守の徹底

(5) 経営基盤の強化

- ①社会福祉充実残額の算定と計画立案の要否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

- ②中期財政計画の検討（職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新）
当初の計画どおり、退職金等を積立しました。

- ③会員会費制度の整備充実

○会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
R3	1,095,800円	390,000円	676,500円	2,162,300円
R4	1,093,650円	402,000円	695,300円	2,190,950円
R5	1,072,250円	385,000円	683,500円	2,140,750円

- ④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金	518,681円
内容 広報啓発事業	368,681円（前年度 335,512円）
フードドライブ事業	150,000円（前年度歳末60,000円）

○歳末たすけあい募金助成金 1, 072, 362円（前年度 995, 232円）

内容

	事業名	金額
1	ボランティアセンター運営事業	300,000円
2	被災者世帯見舞金贈呈事業	200,000円
3	広報紙発行事業	307,362円
4	日常生活のちょこっとお手伝い事業	100,000円
5	ふれ愛ひろば網走開催事業	90,000円
6	事務経費（共同募金会へ）	75,000円

⑤高額寄付者への感謝状贈呈（社協会長顕彰） 令和5年度3件（前年度1件）

⑥職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

（6）事務局体制の整備

①事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。

②職員の資質向上のため職員研修を行ないました。

③Zoom等オンラインにて各種研修会等に参加しました。

（7）網走市共同募金委員会の事務局運営

（8）備品貸出事業の実施

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。当年度は、テント等の屋外行事用備品、プロジェクター・スクリーン等の屋内研修会用備品の貸し出しが増加しました。（前年度34件）

○利用実績

件数	主な貸出備品／利用者
43	プロジェクター・スクリーン、テント、かき氷機／老人クラブ、福祉施設・団体

2. 受託事業

（1）網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題があり、良い解決策がないまま利用者の皆さまにご不便をおかけしているところですが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

項	目	R3年度	R4年度	R5年度
団 体	団体数	655	773	1,261
	人数	5,599	7,814	9,671
個 人	老人	3,839	5,159	5,016
	母子	0	0	0
	身障	1,192	2,032	1,749
	精神障がい等	138	170	177
	小計	5,169	7,361	6,942
合	計	10,768	15,175	16,613

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	令和6年 1月7日(日)	演芸発表(カラオケ・踊りなど)、バザー、抽選会 ※別会場でカレンダー・リサイクル市
消防訓練 (避難・通報・消火訓練)	6月19日 11月8日	網走市老人デイサービスセンター、網走市子ども 発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市老人デイサービスセンターの指定管理受託

(3) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項目	R3年度	R4年度	R5年度
運行回数	48	58	71
利用人員	1,383	1,246	1,415

(4) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会